

通巻42号

(平成19年12月)

編集・発行 印西市立大森図書館

図書館ホームページ

・パソコン から…

<http://www.library.city.inzai.chiba.jp/>

・i-mode から…

<http://www.library.city.inzai.chiba.jp/i/>

クリスマスを楽しもう!



12月になり、街中でクリスマス・ソングを耳にするようになりましたね。

図書館でも、クリスマスにちなんだお話しや絵本を集めたコーナーを設け、各館でクリスマス会を開催します。ぜひ気楽に立ち寄って楽しんでいってくださいね。

クリスマス会 のご案内

大森図書館

日時：12/9(日) 10時半から
10時から会場に入れます。

場所：印西市文化ホール 2階 多目的室

対象：3歳から小学3年生くらいまで

定員：100人(当日先着順です。)

入場無料です。

内容：大型絵本の読み聞かせやパネルシアター

お問合せ：大森図書館 42-8686

楽しいお話を用意してお待ちしています!

小林図書館

日時：12/2(日) 11時から
10時50分から会場に入れます。

場所：小林コミュニティプラザ 1階 遊戯室

対象：3歳から小学3年生くらいまで

定員：50人(当日先着順です。)

入場無料です。

内容：大型絵本の読み聞かせやパネルシアター

お問合せ：小林図書館 97-0005

アンパンマンの

おりがみプレゼントがあります。

小倉台図書館

日時：12/15(土) 10時半から
10時から会場に入れます。

場所：小倉台図書館 集会室

対象：3歳から小学3年生くらいまで

定員：50人(当日先着順です。)

入場無料です。

お問合せ：小倉台図書館 47-5511

毎月行なっているお話し会とは違った、大掛かりな出し物をおおくりします。大勢で楽しむ絵本の世界をぜひ体験して下さい。



楽しかったね！～行事報告～

～ブックリサイクル～ (大森図書館)



10月21日(日)の印西よかっぺ夢まつりの日に、大森図書館ではブックリサイクルを開催しました。10時のOPEN前には200人以上の行列が出来ました。当日は押すな押すなの大盛況で、リサイクル率も9割近くになりました。職業体験学習の中学生たちも一所懸命準備作業を手伝ってくれました。

図書館での役目を終えた本たちが、皆様方のお手で再び活用されていることを願います。



～職業体験学習～ (大森・小倉台図書館)

毎年9月～11月に市内中学生がさまざまなお店や施設で職業体験を行なっています。もちろん図書館でも多くの中学生を受け入れていて、今年もがんばって働いてくれました。カウンター業務や返却本を棚に戻す作業、破損してしまった資料の修理や本のビニールコートかけなど、さまざまな業務にチャレンジしました。左でも紹介しましたが、大森図書館で開催したブックリサイクルも中学生のチカラによるところが大きかったみたいです。



～図書館懇談会～ (小林図書館)

10月20日(土)に、利用者懇談会を行いました。参加者が少なかったこともあり、和やかな雰囲気の中で話が進みました。内容は、図書館の雰囲気作りや、新しい資料の購入についての希望、近隣住民の利用状況についてなど、様々なことについて話題にあがりました。懇談会でいただいたご意見等を参考に、より身近で利用しやすい図書館を目指していきたいと思えます。

年末年始の休館のお知らせ

図書館では 12月28日(金)から 1月4日(金)まで
年末年始のお休みとさせていただきます。

この期間中は出来るだけブックポストのご利用をお控えいただけますよう、ご協力をお願い致します。



図書館からのお知らせ

～ 館内整理日ってなんですか？ ～

図書館で、毎月月末の平日を「館内整理日」として休館しているのは、カレンダーなどでみなさんもお存知かと思います。でも、「じゃあ、館内整理日ってなにをやっているの？」と思っている人も多いのでは？ そこで、今回は実際にどんなことをしているのかご紹介したいと思います。



「館内整理日」とは、文字どおり「図書館内の整理をする日」です。例えばOPAC（利用者用端末）で本を検索して、利用が出来る状態と表示されて分類番号を手がかりに本を探してみたのに見つからず、結局資料を利用できなかった...といったようなことがないようにするため、図書の背表紙の下部分に貼ってあるシールに書かれた分類番号の順番どおりに資料が並んでいるか確認し、正しい位置に戻すといった作業をしています。

また、印西市内の4つの図書館の職員が一同にあつまり、よりよいサービスを行なうための話し合いをしたり、資料の展示や壁面展示の交換、資料の配置見直し、施設設備の点検などなど、山のようにある作業をこなしています。

休館することによって、みなさまにご不便をおかけするのはとても心苦しいのですが、よりよいサービスを提供するためにどうしても必要な「館内整理日」。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

図書館 人気の本

(平成19年11月28日現在)



楽園（上下）	宮部みゆき / 著
ホームレス中学生	田村 裕 / 著
夜明けの街で	東野 圭吾 / 著
女性の品格	坂東真理子 / 著
名もなき毒	宮部みゆき / 著
夜は短し歩けよ乙女	森見登美彦 / 著
カシオペアの丘で（上下）	重松 清 / 著
おひとりさまの老後	上野千鶴子 / 著
一瞬の風になれ（1～3）	佐藤多佳子 / 著
求めない	加島 祥造 / 著

上記の本は非常に人気があり、リクエストをしていただいても長期にわたりお待ちいただくこととなります。ご了承下さい。上記のうち、ご自宅に不要になった本がございましたら是非図書館にご寄贈ください！

この本、
おすすめです！

12月といったらやっぱりクリスマス。フィクションの世界でも、クリスマスは魅力的な題材の一つらしく、さまざまな作家がクリスマスを舞台に素晴らしい話を創作しています。今回はそんな作品群から3点をご紹介します。

本を読みながら迎えるクリスマスというのも悪くないと思いますよ。



「空飛ぶ馬」 北村 薫 / 著 (東京創元社)

「日常の謎」を題材として扱ったミステリーの開拓的にして代表的な作品です。主人公の女子大生「私」と探偵役の噺家春桜亭円紫が、日常的で些細な謎を解き明かしていくこのシリーズ。タイトルにもなっている「空飛ぶ馬」では、「私」の隣家にすむ子どもトコちゃんが通う幼稚園が舞台。ここで行なわれたクリスマス会で園に中古の木馬が贈られたのだけれど、その夜木馬は幼稚園から姿を消してしまい、しかし翌日には元にもどったという内容で、クリスマスにふさわしく、心がほんのり温かくなるようなお話です。

「クリスマスの4人」 井上 夢人 / 著 (光文社)

1970年のクリスマス、二十歳を迎えた男女四人は、ドライブ中にオーバーコートの男を轢いてしまった。しかもその男性のコートのポケットから二百万円もの大金が出てきた。彼は一体何者なのか？どこから来たのか？謎の多い男の死体を山に捨て、四人は重大な秘密を共有することとなる。その後、十年毎に彼らは不可解な謎と遭遇することになる。そして2000年…。とてもトリッキーで頭が混乱してしまいそうだけれど、一度読み始めたらやめられない面白さです。



「サンタクロースのせいにして」 若竹 七海 / 著 (集英社)



岡村柊子は、さまざまな事情から友人の友人である松江銀子という女性と同居生活することとなる。美人で性格のよさそうな銀子だったが、その育ちのせいで常識はずれのトラブルメーカーだったのだ。しかしそんな銀子との生活は大きな苦勞を伴いながらもとても楽しいものだった…。そんな二人の周囲で起こる小さな謎を描いた連作短編集。「サンタクロースのせいにして」は、近所の主婦が二人の住む家の玄関で動く死体を見たとき騒ぎ立て、近所の住民を巻き込んだ大騒動になるといったお話。

表紙画像は出版社に許諾を得て掲載しております。

図書館についてのお問い合わせは、
もよりの図書館まで！

大森図書館	・・・	42 - 8686
小林図書館	・・・	97 - 0005
そうふけ図書館	・・・	45 - 2566
小倉台図書館	・・・	47 - 5511

編集
後記

2007年も残すところあとわずか。年始に立てた計画は結局達成されないまま2008年を迎えそうです。といっても大した計画ではありませんが…。それにしても今年も色々なことがありました。この年齢になって初めての体験ということも多かったです。来年も様々なことにチャレンジしていければいいなあと思います。(T・A)